

< 清和台中学校 学校関係者評価 >

今年度の学校評価を行うにあたり、職員、生徒、保護者にアンケートを行いました。その結果をもとに、今年度の教育課程や学校教育活動について学校関係者(学校評価委員会委員)に説明を行い、下記のようなご意見をいただきました。これらのご意見については、全職員に周知するとともに、次年度の学校教育目標の設定、並びに教育課程編成の参考といたします。

【登下校について】

- けやき坂地域から通学している子どもたちの通学路は、暗くなると安全なのか不安である。集団下校をする等、同じ方向の子どもと一緒に下校することを考えてはどうか。
- けやき坂地域の通学の利便性について、コミュニティからバス会社に増便の依頼をしたこともある。ただ、バス会社にとって採算がとれない便を増やすことは難しいと思われる。
- 以前、けやき坂地域住民と市で、通学時の自転車使用を検討した事があったときいているが、子どもたちの安全性に問題があるということで実現しなかったときいている。
- 遠方から登下校している子どもたちの安全を担保できるように、例えば学校運営協議会から市に何らかの手立てをお願いすることも1つなのではないか。

【部活動について】

- クラス数の減少に伴い、部活動の数も見直しが必要。
- 現状顧問数が不足している部活動に、例えば地域の方にボランティアをお願いする等して支援することはできないか。検討の必要がある。

【校則について】

- 現在、既存の校則についての検討に、生徒会を中心に生徒全員が話し合う場を設定する等の取り組みをしているのはよいことだと思う。
- 「女子はスカート、男子はズボン」ではなく、女子もズボンを選択できるようになっているのは機能的だと思う。

【教職員の勤務時間の適性化】

- 昨年度と比べて、教職員評価が下がっている。教職員一人一人が、どの項目に特に無理を感じているかを具体的に知りたいと思う。その結果、多くきかれた内容を、例えば学校運営協議会で協議し、支援に結びつけたい。